

こどもいけん広場

「こども防災アイデアワークショップ」

たいめん こう かい
対面いけん交かん会



フィードバック 資料

仙台子ども財団

もくじ 目次

たいめん こう かい ないよう	
対 面 いけん 交 かん 会 の 内 容	1
どうして、こどもたちと一 しょ に 防 災 について 考 えたの？	2
どんなワークショップをしたの？	3
いけん なつ じぶん きょうだい	
どんな意見があったの？～A 夏 に、自分ひとりまたは 兄 弟 とおうちにいるとき～	4
いけん ふゆ じぶん きょうだい	
どんな意見があったの？～B 冬 に、自分ひとりまたは 兄 弟 とおうちにいるとき～	6
いけん ふゆ いっしょ	
どんな意見があったの？～C 冬 に、おじいちゃん・おばあちゃんと一 しょ にいるとき～	8
いけん なつ いっしょ	
どんな意見があったの？～D 夏 に、ペットと一 しょ にいるとき～	10
かぶしきがいしゃ おおやまあきひろだいひょうとりしまりやくしゃちょう	
アイリスオーヤマ株式会社 大山晃弘代 表 取 締 役 社 長 からのメッセージ	12
せんだいし ぼうさい げんさい はやさかま さ と	
仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人さんからのメッセージ	13
せんだい りゃんよんぎ	
ベガルタ仙台クラブコーディネーター 梁 勇基さんからのメッセージ	14
かんが ぼうさい	
みんなで 考 えたことを、これからの 防 災 へ	15

たいめん こう かい ないよう 対面いけん交かん会の内容

テーマ名	こども防災アイデアワークショップ
対 象	しょうがっこう ねんせい こうこうせいねんだい 小学校4年生～高校生年代
実 施 日	れいわ ねん がつ にち ど 令和8年8月22日(土)14:00～16:00
場 所	あおば かい アイリス青葉ビル 9階
参加者数	めい しょうがくせい めい ちゅうこうせいねんだい めい 20名(小学生:16名、中高生年代:4名)
内 容	①3.11 と防災を知ろう ● せん だいしぼうさい げんさい はやさかまさと 仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人さん ● かぶしきがいいしゃ おおやまあきひろだいひょうとりしまりやくしゃちょう アイリスオーヤマ株式会社 大山晃弘代表取締役社長 ● せん だい りゃん よん ぎ ベガルタ仙台クラブコーディネーター 梁勇基さん ②防災アイデアワークショップ ③発表・フィードバック

どうして、こどもたちと一緒に防災について考えたの？

ひがしにほんだいしんさい ねん
東日本大震災から15年。

これから**ぼうさい**の**かんが**を**かんが**えるためには、**しんさい** **けいけん**震災を経験していないこどもたちも、
さいがい **じぶん**災害を「自分ごと」として**かんが** **たいせつ**考えることが大切です。

こんかい今回のワークショップでは、アイリスオーヤマ株式会社、**かぶしきがいしゃ** **せんだいし** **せんだい**仙台市、**ざいだん** **れんけい**仙台こども財団が連携し、
こどもたちが**ぼうさい**防災について**まな** **じぶん**学び、自分たちの**せいかつ** **ふ** **かえ**生活を振り返りながら、「こんなものがあつ
あんしん **くふう**たら安心」「こんな工夫があつたらいい」と**じゆう**自由に**だ** **あ**アイデアを出し合いました。

こどもたちの**めせん**目線だからこそ**み** **き**見つけられる**き**気づきやアイデアには、**ぼうさい**これからの防災をより
よくするための**たいせつ**大切なヒントがたくさんあります。

こんかい今回のワークショップを通して、こどもたちが**と** **ぼうさい** **み** **ぢか**防災を身近なこととして**かんが** **かんが**考えるきっかけを
つくとともに、こどもたちから**う** **き**生まれた**き**気づきやアイデアを、**ぼうさい** **とりくみ**これからの防災の取組を
かんが **さい** **い**考える**さい**際のヒントとして**い**生かしていきたい。

そんな**おも**思いから、**こんかい**今回、こどもたちと一緒に**いっしょ** **ぼうさい**防災について**かんが**考えました。

どんなワークショップをしたの？

した
下のテーマごとに、留守番をしているときに地震が起きて、電気・ガス・水道が使えなくな
った状 況で、3日間を過ごすためにはどんなものが必要かを 考えました。

- A 夏に、自分ひとり、または兄弟とおうちにいるとき
- B 冬に、自分ひとり、または兄弟とおうちにいるとき
- C 冬に、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にいるとき
- D 夏に、ペットと一緒にいるとき

アイテムカードを使いながら、
「こんなものがあると安心！」
「カードにはないけれど、これも必要！」
と思うものを自由に申し出ました。

オリジナル防災リュックを作ろう！



防災リュックに入
れて持ち出したい
ものを 考えまし
た。

おうちに防災グッズを備えよう！



電気・ガス・水道が
使えない状態で、
おうちに備えてお
きたいものを 考
えました。

いけん どんな意見があったの？～A夏に、自分ひとりまたは兄 弟とおうちにいるとき②～

そな ぼうさい おうちに備える防災グッズ

- かん
缶ジュース、カセットコンロ、ぼうし、みず、ひんやりシートなどを備えておきたい！
- とく かん
特に缶ジュースは、きょうだい す 必要だし、ひつよう、いろいろな味がえら 選べるとき ぶんてんかん 気分転換にもなる！



いけん どんな意見があったの？～B冬に、自分ひとりまたは兄 弟とおうちにいるとき①～

ぼうさい オリジナル防災リュック

- 冬に 暖 かくないと 体 にストレスがたまるので、大きなもうふや使いすてカイロ、あつ手のくつ下などの「あったかいセット」を入れたい！
- 小さいこどもたちが遊べるように、折り紙やトランプなどの「ひまつぶしセット」を入れたい！



いけん どんな意見があったの？～B冬に、自分ひとりまたは兄 弟とおうちにいるとき②～

そな ぼうさい おうちに備える防災グッズ

- あたた かい鍋料理をするためにガスコンロ、ガスコンロの燃料のためのガスボンベ、料理の材料にする缶詰、水の「あったかい鍋セット」を備えておきたい！
- さむ 寒さを和らげるため、石油ストーブと電池の「ストーブセット」を備えておきたい！
- あたた 温まって快適に寝ることができる寝袋を用意したい！



いけん どんな意見があったの？～^{ふゆ}冬に、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にいるとき①～^{いっしょ}

ぼうさい オリジナル防災リュック

- ^{さむ}寒い^{ふゆ}冬を乗り切るために、^{つか}使いすて^でカイロやもうふ、^{した}あつ手のくつ下などを入りたい！
- ハサミやガムテープなどの^{こうぐよう}工具用セットがあれば、自分たちで^{じぶん}壊れたものを直したり、^な段ボールで必要なものを作ったりすることができる！
- 3.11 ^{とき}の時には電話がなかなかつながらず、^{でんわ}公衆電話が早くつながったので、^{こうしゅうでんわ}テレフォ
ンカードを入れておき、^{さいがいようでんごん}災害用伝言ダイヤ
ルで^{れんらく}連絡できるようにしたい！
- ^{けが}怪我をした^{とき}時のために^{きゅうきゅう}救急セットも
^{ひつよう}必要！



いけん どんな意見があったの？～^{ふゆ}冬に、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒^{いっしょ}にいるとき②～

そな ぼうさい おうちに備える防災グッズ

- おじいちゃん・おばあちゃんのために、やわらかい^た食べ物^{もの}や老眼鏡^{ろうがんきょう}の予備^よ、入れ歯^いケース^ば、つえなどを^{そな}備えておきたい！
- 断水^{だんすい}した^{とき}のために、水なし^{みず}シャンプーを^{そな}備えておきたい！



いけん どんな意見があったの？～D夏に、ペットと一緒にいるとき②～

そな ぼうさい おうちに備える防災グッズ

- ひなんじょ 避難所にペットを連れて行く場合に、猫や犬のアレルギーの人がいるかもしれないので、ペット用バッグやケージを備えておきたい！



かぶしきがいしゃ

おおやまあきひろだいひょうとりしまりやくしゃちょう

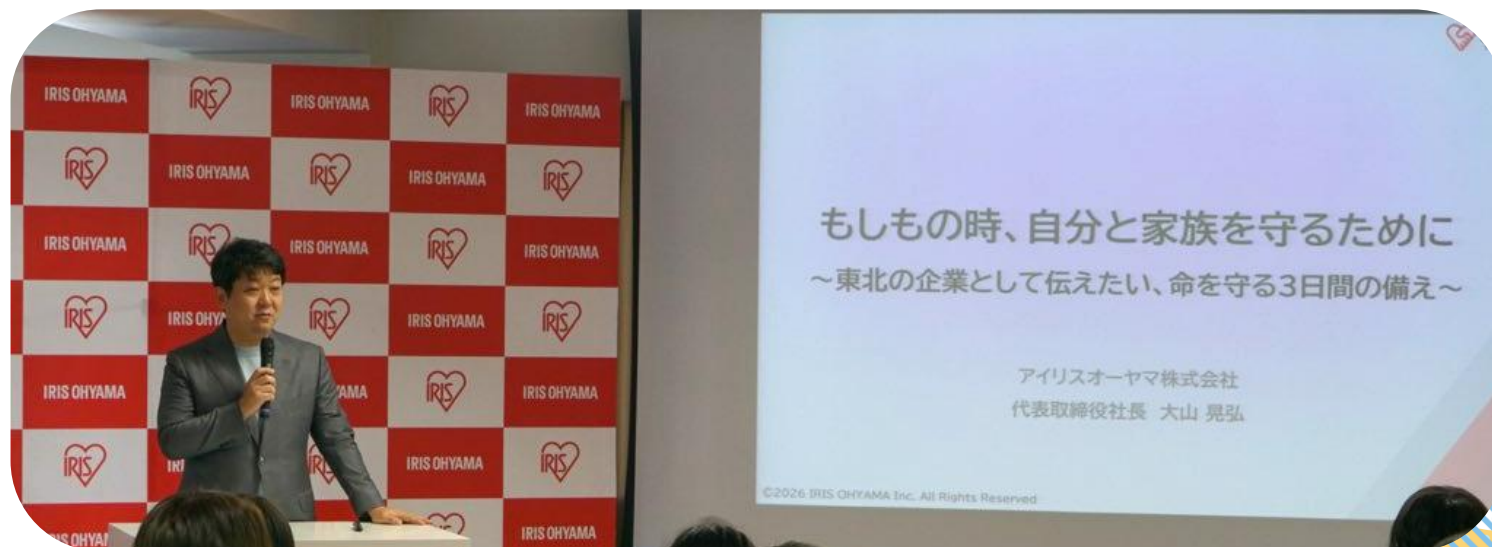
アイリスオーヤマ株式会社

大山晃弘代表取締役社長からのメッセージ

今回のワークショップでは、みなさんが「こんなものがあったら安心」「こんな工夫があつたらいい」と、自分たちの生活を思い浮かべながら考えている姿がとても印象に残りました。こどもだからこそ気づけることや、こどもならではのアイデアには、これからの防災をよりよくするための大切なヒントがたくさんあります。

今回みなさんが考えてくれたアイデアを、これからの商品開発や、みなさんが安心して暮らせる商品・サービスを考えるときのヒントとして生かしていきたいと思います。

これからも「こんなものがあつたらいい」という気持ちを大切に、みなさんの声を聞かせてください。



せん だい し ぼう さい げん さい **仙台市防災・減災アドバイザー** はやさか まさと **早坂政人さんからのメッセージ**

こんかい
 今回のワークショップでは、みなさんが自分や家族のことを思い浮かべながら、防災につ
 しんけん かんが
 いて真剣に考えてくれたことがとても印象に残りました。帽子をヘルメット代わりに使う
 いんしょう のこ
 工夫や、ペット用の防災セット、おじいちゃん・おばあちゃんのための備えなど、一人ひとり
 ぼうし が つか
 の暮らしに合わせたアイデアには、おとなも多くの気づきをもらいました。

ぼうさい き
 防災に決まった正解はありません。大切なのは、自分や家族が災害のときに何に困るのか
 せいかい たいせつ
 を考え、普段から備えておくことです。

い けん
 みなさんからいただいた意見やアイデアは、防災教育や普及啓発をはじめ、今後の防災・
 ぼうさいきょういく ふきゅうけいはつ
 減災アドバイザーとしての活動に生かし
 こんご ぼうさい
 ていきたいと思ひます。



ベガルタ仙台クラブコーディネーター 梁勇基さんからのメッセージ

今回のワークショップでは、グループごとに分かれてそれぞれのテーマに沿ってみなさんが意見やアイデアを出しながら積極的に取り組んでいた姿がとても印象的でした。

「あれもいいね」、「これもいいね」など、こども達同士でも意見を尊重し合い、色々な気づきも生まれた時間だったと思います。

防災について、真剣に考え取り組むこども達の姿は本当にたくましく、頼もしかったです。

今後もこういった取組を通じて、私たちと一緒に防災意識を高めていってほしいと思います。



みんなで考えたことを、これからの防災へ

今回のワークショップでは、たくさんの「こうしたらいいな」「こんなものがあったら安心！」というアイデアが出ました。一人ひとりが自分の生活を思い浮かべて考えたからこそ、おとなだけでは気づきにくい視点もたくさん見つかりました。
みなさんの意見は、これからの防災を考えるための大切なヒントとして生かしていきます！

参加してくれたみなさんへ

「自分だったらどうする？」と考えたこと。「こんなふうになりたい！」と伝えたこと。
友だちの意見を聞いて「なるほど！」と思ったこと。その一つひとつが、これからの防災につながっていきます。

一緒に考えてくれて、ありがとうございました！

これからもみんなで、防災・減災の輪を広げていきましょう！

